

医療関連機関 各位

株式会社 東京酸器

新型コロナウイルス関連情報 高圧ガス容器消毒に関してのお知らせ

「新型コロナウイルス感染症」感染拡大に伴い、院内で患者様が使用した高圧ガス容器の消毒は、当該医療機関にお願いされているところと存じます。

医療機関や在宅酸素療法患者宅から返却される高圧ガス容器消毒方法に関して、現時点での見解を掲示致しますのでご参考ください。

また、併せてCGAによる「新型コロナウイルス感染症」を念頭に置いた、高圧ガス容器の洗浄と消毒に関するガイドラインをご覧下さい。

高圧ガス容器消毒について

一般社団法人日本産業・医療ガス協会
医療ガス部門

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染予防のための高圧ガス容器消毒方法に関しご案内いたします。感染予防策として、^{※1}医療機関においては、患者周囲の高頻度接触部位などアルコールあるいは0.05%の次亜塩素酸ナトリウムによる清拭で高頻度接触面や物品等の消毒励行が望ましいと推奨されています。こうした消毒方法による高圧ガス容器への影響は以下のことが考えられます。

※1「新型コロナウイルス感染症に対する管理」(国立感染症研究所 2020年3月5日改訂)

1. アルコール消毒による清拭

高圧ガス容器に関しても有効な消毒方法です。

なお在宅酸素療法に使用されるFRP容器は、場合によってアルコールで拭きとった際、表面のクリア塗装が白く濁る現象が生じることがあります。

2. 次亜塩素酸ナトリウム(0.05%)による清拭

一般的に、アルコールによる清拭と並んで患者周囲にある物品の消毒に推奨されています。しかしながら高圧ガス容器に関しては不向きと考えます。すなわち次亜塩素酸ナトリウムは腐食性があり、バルブ・リング・パッキン等への影響が否定できません。低濃度の次亜塩素酸ナトリウムによる腐食性がどの程度かはデータがないため断言できませんが、1回毎の消毒においては低濃度であってもねじ込み部等に消毒液が残り、消毒を重ねることで悪影響が生じるおそれがあるため次亜塩素酸ナトリウム(0.05%)による清拭は推奨致しません。

*新型コロナウイルス感染症は、未知のウイルスによるものであり十分な知見が蓄積されているわけではありません。上記の記載事項はあくまでも現時点での弊協会見解であることをご理解ください。

以上